

さまざまな分野でそれぞれの個性を発揮している愛知学院大学のOB&OG。  
そんな先輩たちから、これからの4年間をAGUで学ぼうとしている人たちに、  
現在の活躍ぶりや、大学生活を有意義に過ごすためのアドバイス&メッセージが届きました。

## 長谷川 明弘

財団法人 保健同人事業団・心の相談室 <臨床心理士>

1995年文学部心理学科卒業 愛知県立丹羽高等学校出身  
東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程在籍中

# 多くの仲間との出会いが 人の心の問題を扱う今の仕事に生きています



現在、臨床心理士として働きながら大学院で研究を続けています。臨床心理士は、心理学の知識や諸技法を生かしてカウンセリングや心理療法を行い、心の問題を援助する専門家です。一方、大学院では高齢者の健康を支える心理条件など、いわば“生涯現役”が研究テーマ。在籍する都市科学研究科では、多種多様な学問的バックグラウンドをもつ教官や学生が集い、都市を対象として学際的な研究を進めています。臨床心理士としても院生としても共通していることは、従来の心理学の視点だけでなく、新たに老年学、公衆衛生学、ヘルスプロモーション、社会学、行政学、経済学、建築学といった多様な領域の視点をもっていないと研究や実践がなかなか進まないということ。そういう意味でも、可能性に満ちた自由な雰囲気の中、多くの仲間と出会えた大学時代のすべてが今に生きていると感じています。